

公表

令和4年度全国学力・学習状況調査の本校の状況

令和4年4月19日（火）、全国学力・学習状況調査が6年生で実施され、先日結果が本校に届きましたので、結果の概要をお知らせいたします。

調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

【児童質問紙より】

全国値よりも高い値で、望ましい傾向にあると判断される項目

- ◎将来の夢や目標を持っている。
- ◎先生は、わたしのよいところを認めてくれている。
- ◎いま住んでいる地域の行事に参加している。
- ◎地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある。
- ◎5年生までの授業で、PC・タブレットをほぼ毎日、週3回以上使う。
- ◎総合学習では、課題を立て情報を集め整理し発表する活動に取り組んでいる。
- ◎学級会では、話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 人が困っている時は、進んで助ける。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- 学んだことを活かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。
- 分かった点、わからなかった点を見直し、次の学習につなげている。
- 学級での話し合いを活かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組む。
- 道徳の授業では、考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいる。

全国値と比較して改善が必要と判断される項目

- ▲「毎日同じくらいの時刻に起きる」と答えた割合は、全国値より低い。
- ▲家ででのケータイ・スマホ・PCの使い方の約束を守るは、全国値より低い。
- ▲「1日あたり2時間以上ゲームをする」の割合が、全国値より20%以上多い。
- ▲「自分にはよいところがあると思う」の割合が、全国値より低い。
- ▲「普段1時間以上勉強している」の割合が、全国値よりも25%程度低い。
- ▲「普段10分以上読書をする」の割合が、全国値よりも15%程度低い。

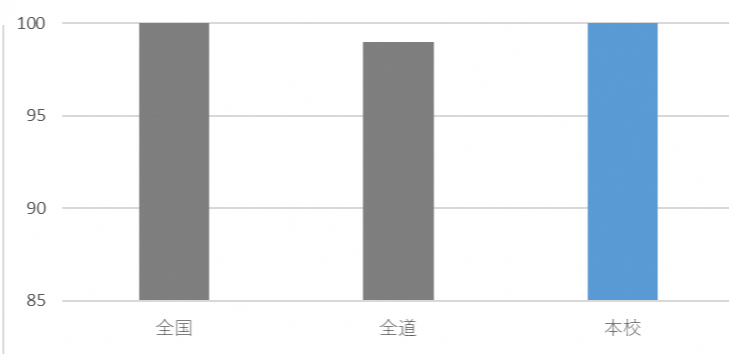
全国値と比較して二極化がみられると判断される項目

- ▲「朝食は毎日食べている」は9割以上が肯定だが、二極化している。
- ▲「話し合いでは考えを深められる」は7割以上が肯定だが、二極化している。

【分析】児童質問紙調査の結果から、**望ましい傾向**として、「将来の夢や目標を持ち、人が困っている時は進んで助け、人の役に立つ人間になりたい」との思いを持ち、地域の行事に参加し、地域や社会を良くしようと考えている児童の姿が浮かびます。また、学級内では、話し合い活動の充実やタブレットPC等を使った授業の実施の充実について肯定的に受け止めている様子うかがわれます。一方、**今後の改善が必要と考えられること**として、家庭でのゲームの時間の長さ（2時間以上）や家庭学習時間の短さ（1時間より少ない）の改善、読書をする習慣づくりなどが挙げられます。学校では今後も、全ての授業において「見通し」や「振り返り」「対話」等を適切に位置付けるとともに、調査結果とその改善策について全体で共有し確実に改善させるよう取り組んでいきます。**ご家庭でも、各学年の段階に応じた家庭学習習慣の確実な定着と、日常生活リズムの見つめ直しや改善を進めていただきますようお願いいたします。**

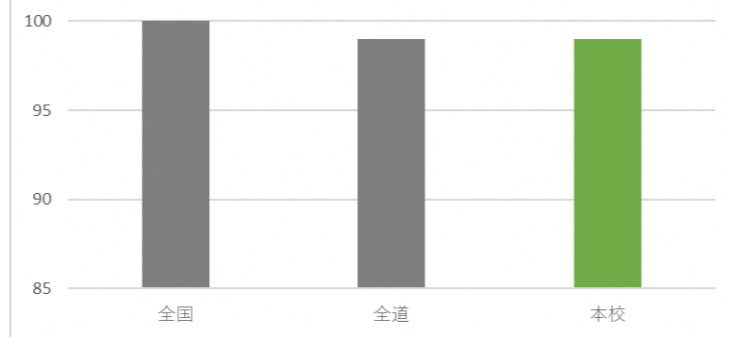
下のグラフは、全国の平均正答率を100とした時の、北海道と本校の正答率を表したものです。この調査結果は学力の特定の一部であること、また、今年の4月19日時点のものであることをご承知おください。

【国語】国語の平均正答率は、全国を上回りました。



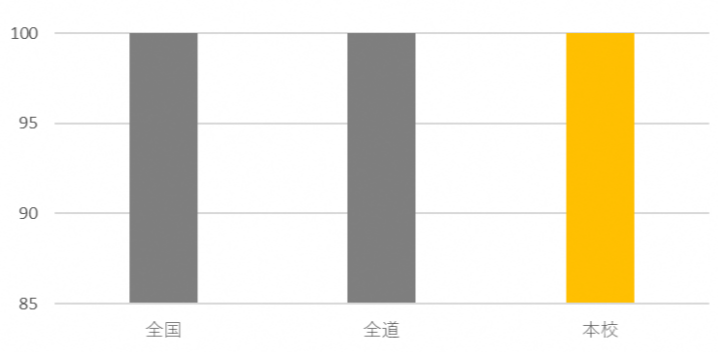
- 漢字の記述では、出題された3問全てで全国正答率よりも6%から18%程度上回る高い値で正答を記載することができました。
- ▲物語文の問いでは、4問全て全国正答率を下回っていたことから、物語文を叙述をもとに気持ちや描写や全体像を捉えることに課題が見られました。
- ▲記述式の3問では、3問中2問で無回答率の割合が全国と比べて5%程度高いことから、最後まで解答をしようと努力することに課題が見られました。

【算数】算数の平均正答率は、全国を下回りました。



- 全ての問題で、無回答率の割合が全国と比べて低いことから、算数では、最後まで解答して答えを導き出そうと努力していることがうかがわれました。
- ▲「変化と関係」の領域として出題された4問の全てが全国正答率を下回ったことから、割合・百分率、二つの数量の比例関係に課題が見られました。
- ▲「図形」の領域として出題された4問中3問で全国正答率を下回ったことから、図形の意味や性質や構成する要素の理解について課題が見られました。

【理科】理科の平均正答率は、全国と同程度でした。



- ほぼ全ての問題で、無回答率の割合が全国と比べて低いことから、理科では、最後まで解答して考えを表そうと努力していることがうかがわれました。
- ▲「エネルギー」を柱とした領域として出題された4問の全てが全国正答率を下回ったことから、光の性質をもとにした日光の理解や実験に課題が見られました。
- ▲「粒子」を柱とした領域として出題された4問中3問で全国正答率を下回ったことから、水溶液の凝固と溶解の理解について課題が見られました。

【国語の結果】

- 漢字を文の中で正しく使う問い（録画、反省、親しむ）は、6%から18%以上全国正答率を上回った。
- 説明文で、□の部分をもどのようなことに気を付けて書いたのか選択する問いは、8%以上全国正答率を上回った
- ▲物語文で、登場人物(老人とぼく)の相互関係について捉える問いは、13%以上全国正答率を下回った。
- ▲物語文で、物語から伝わってくる人物像や全体像を想像する問いは、9%以上全国正答率を下回った。

【国語に関わる児童質問紙の項目から】

- 「国語の勉強は大切だと思う」「国語の授業内容はよく分かる」と答えた割合は、全国値よりも高い。
- 「国語の授業で学習したことは将来社会に出た時に役立つ」と答えた割合は、全国値よりも高い。
- ▲「国語の勉強が好きだ」と答えた割合は、全国値よりも低い。

【算数の結果】

- 解答例をもとにして加法と乗法の混合した立式を説明する問題は、5%以上全国正答率を上回った。
- ▲果汁30%で果汁180ml入っている飲み物の全体量を求める問題は、19%以上全国正答率を下回った。
- ▲表の意味を理解してある項目の数を求める問題は、10%以上全国正答率を下回った。
- ▲正三角形の意味や性質をもとに、正三角形をかくプログラムを書き直す問題は、14%以上全国正答率を下回った。

【算数に関わる児童質問紙の項目から】

- 「算数の授業の内容はよく分かる」と答えた割合は、全国値よりも高い。
- ▲「算数の勉強は大切だと思う」と答えた割合は、全国値よりも低い。
- ▲「算数の授業で学習したことは将来社会に出た時に役立つ」と答えた割合は、全国値よりも低い。

【理科の結果】

- 理科で利用する器具の名称(メスシリンダー)を書く問いは、22%以上全国正答率を上回った。
- 鉄棒に付着する水滴と氷の粒は空気中の水蒸気だったことの理解は、15%以上全国正答率を上回った。
- ▲観察結果から得た他者の気づきを解釈して自分の考えを持つ問いは、18%以上全国正答率を下回った。
- ▲メスシリンダー内の水の量を正しく読み取り更に水を加える問いは、19%以上全国正答率を下回った。

【理科に関わる児童質問紙の項目から】

- 「理科の勉強は好きだ」、「理科の授業の内容はよく分かる」と答えた割合は、全国値よりも高い。
- ▲「理科の授業で学習したことは将来社会に出た時に役立つ」と答えた割合は、全国値よりも低い。
- ▲「理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と答えた割合は、全国値よりも低い。

公表

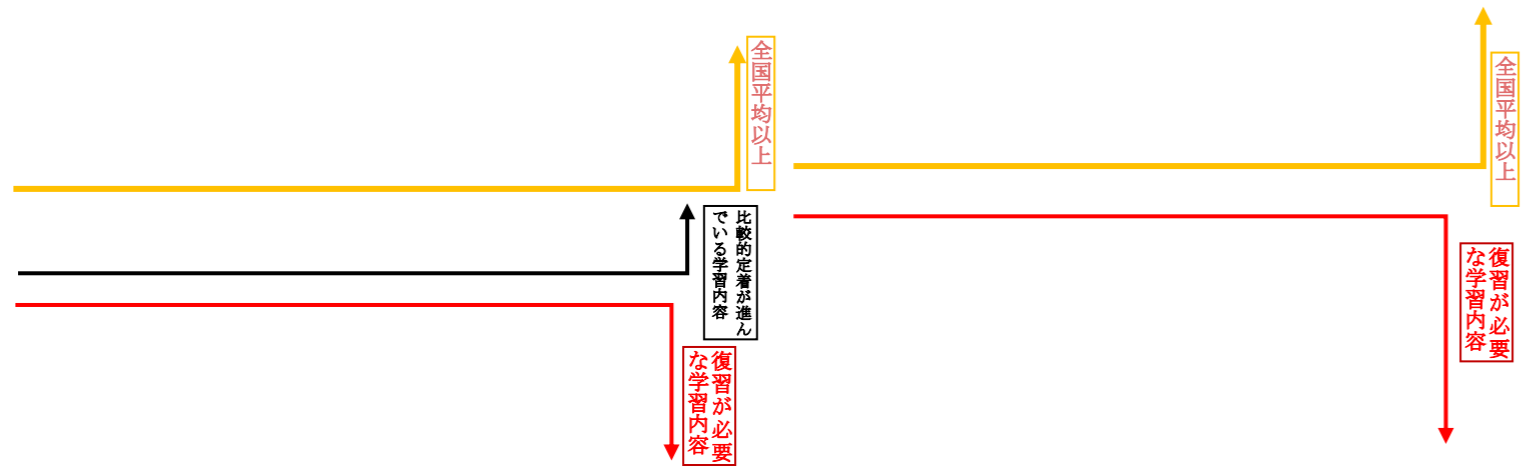
標準学力検査（NRT）の本校の状況

新十津川小学校では、児童生徒の学力向上に向けて4月8日に2年生・3年生・4年生・5年生・6年生を対象に標準学力検査（NRT）を実施しました。国・算の2教科で実施しました。結果の概要をお知らせいたします。

2年生

【国語】

【算数】



2年生の取り組み

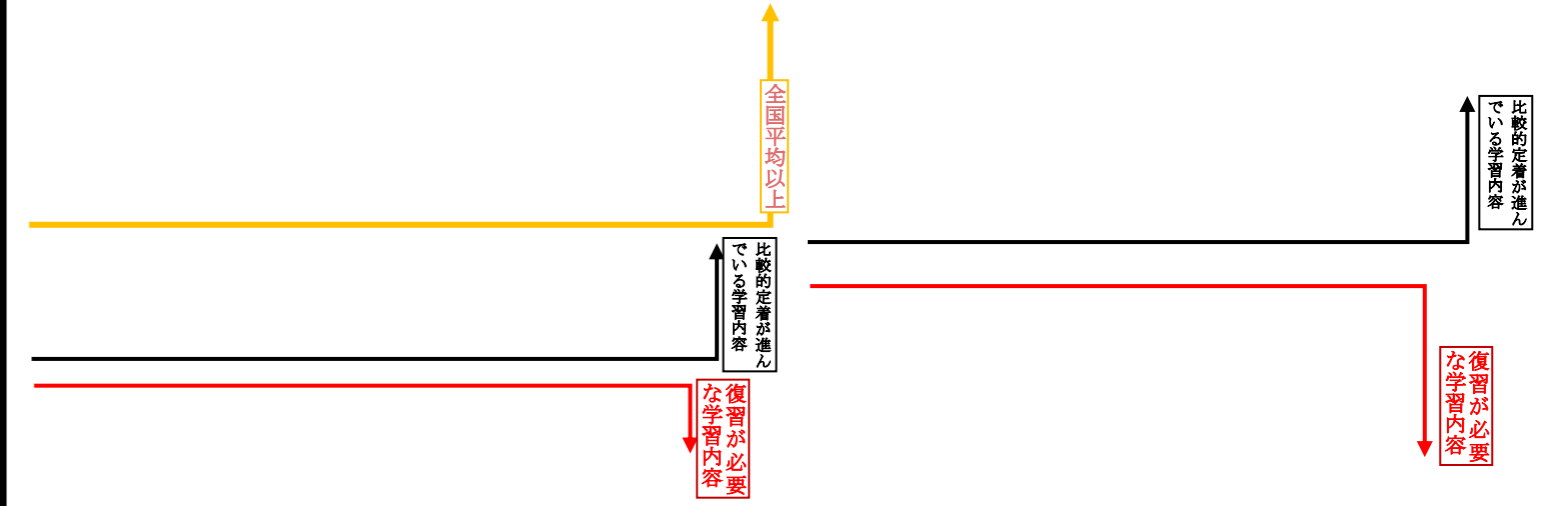
- 生活や学習の中で、話をしっかりと聞くことを意識させていく。
- 状況に合った文を書く指導を行うとともに、繰り返し取り組ませていく。
- 後半の問題での通過率が悪く読み取りや感想などで全国比を下回る。音読練習などくり返し、スラスラと文章を読み進める力を伸ばしていけるよう指導していく。

→既習事項について、再度指導するとともに朝学習や宿題でも繰り返し取り組む。

3年生

【国語】

【算数】



3年生の取り組み

- 文章をしっかりと聞き取れないことから話題や内容を理解できていないため、生活や学習の中で話をしっかりと聞き取らせる指導をしていく。
- 問題文をよく理解できていないことから、内容をしっかりと読み取る指導をしていく。
- 読みが進まない傾向があるので、言葉のまとまりを意識しながらスムーズな音読ができるよう、授業の中で訓練していく。

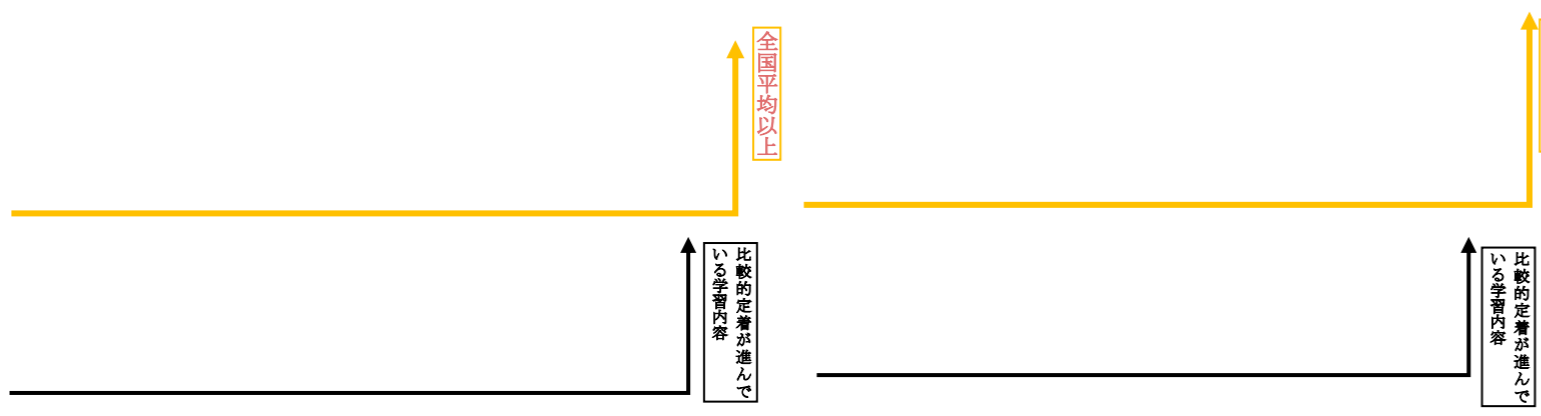
→「たし算、ひき算、かけ算」が全国比を下回っている、「正確に計算する力」の定着を目標に、宿題と朝学習で基礎となる計算問題を多く取り入れる。

→「図形」「単位」の理解の結果がよくないため、既習事項の振り返りや具体物の操作などを意図的に取り入れ課題を改善する授業を進める。

4年生

【国語】

【算数】



4年生の取り組み

- 教科を問わず、主述を整えたり、目的に応じて論理的に思考して筋道を立てて記述する思考・表現を鍛えていく。
- 接続語の選択に課題が見られるので、文の前後の対比を論理的に思考する機会を授業の中でもうけるとともに、辞書を活用する機会を増やす。

→落ち込みが見られる分数の数的概念については、宿題や朝学習を利用して理解を深める。

→三角定規の角や二等辺三角形の概念を定着させ、説明できるよう指導する。

→重さや長さの問題や時刻は読めても時間を読み取ることに課題が見られるので、日常生活と関わりながら指導し、理解・活用できるようにする。

★全国平均を100とした時の本校の定着状況をグラフで表しています。

全校的傾向

【国語】

【「話すこと・聞くこと」の領域】

- 敬語、言葉の対応に気を付けて話す
- ▲話題を決め、構成を考えて話す

【「書くこと」の領域】

- はへを、漢字、ローマ字、仮名遣い

【「読むこと」の領域】

- 人物の行動、要点をとらえ内容を解釈
- ▲考えや感想をまとめ伝え合う

【算数】

【「数と計算」の領域】

- 前年度までの計算

【「図形」の領域】

- ▲かたち、平面図形の性質、面積

【「変化と関係」の領域】

- 割合、百分率
- ▲図や絵を用いた数量の表現

【「データの活用」の領域】

- ※グラフ

